

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
剰余金の配当基準日	
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問合せ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.g-7holdings.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所(証券コード7508)

ご 注 意

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.g-7holdings.co.jp/>



オートバックス・業務スーパーで躍進する

株式会社 **G-7** ホールディングス

本社 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3丁目1番地の6
TEL 078-797-7700 FAX 078-797-7710



オートバックス・業務スーパーで躍進する

株式会社 **G-7** ホールディングス



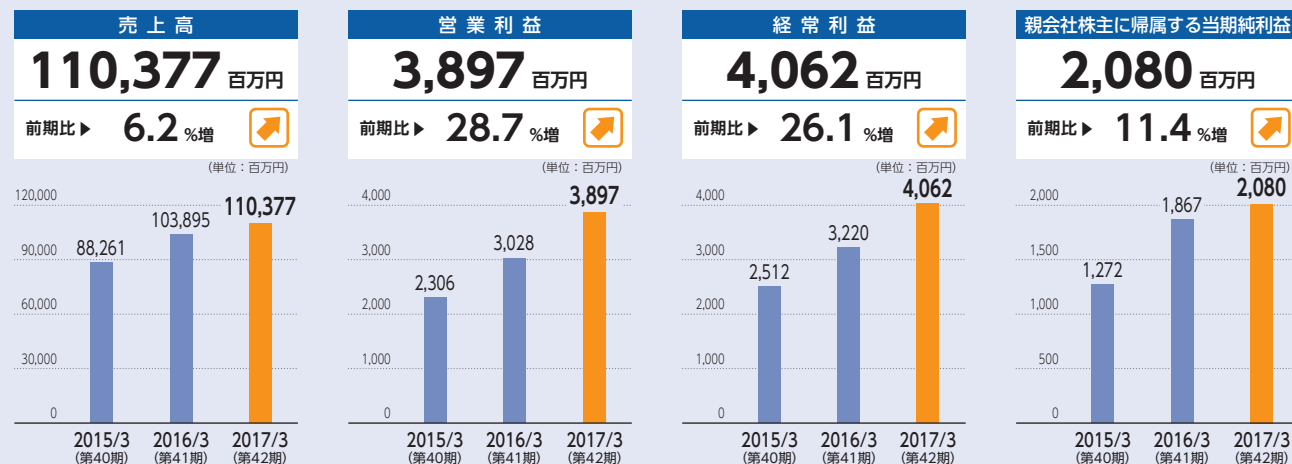
安定成長と財務基盤の確立のために 多彩な事業展開で収益性を高め、 さらなる企業価値の向上を目指します。

G-7グループでは、今後も主力のオートバックス・車関連事業と業務スーパー・こだわり食品事業の売上拡大を図りつつ、新業態や海外展開、M&Aを積極的に推し進め、さらなる持続的な成長に努めてまいります。



取締役名誉会長 木下 守 代表取締役社長 金田 達三

▶財務ハイライト



Q 当期の業績と主な要因について お聞かせください。

A 第42期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）は、「売上確保、粗利率アップ、在庫コントロール、経費コントロール」のグループ方針の下に、既存店の収益力強化とG-7モールフェスティバル等のイベントによる販売強化に取り組みました。その結果、連結業績は売上高110,377百万円（前期比6.2%増）、営業利益3,897百万円（同28.7%増）、経常利益4,062百万円（同26.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,080百万円（同11.4%増）の増収増益となりました。

好業績の要因としては、主にオートバックス・車関連事業の売上が伸長したことで、業務スーパーの既存店の活性化（既存店売上高前期比1.6%増）が挙げられます。

オートバックス・車関連事業については、主力のオートバックス事業の売上、営業利益ともに前年を上回り、好調に推移いたしました。カー用品の売上減少を補う形で、カーズ事業（車買取・販売）の売上が前年を上回ったこと、関東と関西の一部地域での降雪によるタイヤの履き替え需要が、下期の売上増につながりました。バイクワールドについては、国内で1店舗の新規出店を行うとともに不振の1店舗

を閉店し、業績改善に取り組んでおります。また、マレーシアの車関連事業も好調に推移し、全店（オートバックス2店舗、バイクワールド2店舗）増収と好調に推移いたしました。

業務スーパー・こだわり食品事業については、消費者に高品質の商品をお求めやすい価格で提供することにより、多くの消費者の支持を受け、既存店が好調に推移したこと、新規出店が売上増に寄与いたしました。また、老朽化が目立ち始めた店舗の看板の修繕などの改修に取り組みました。一方、精肉事業の「テラバヤシ」も業務スーパーとの共同出店を含め8店舗出店し、増収増益に貢献いたしました。こだわり食品事業については、新規取引先の開拓や全国から厳選した付加価値の高い商材の発掘により、好調に推移いたしました。

その他事業に関しては、昨年6月より農産物直売所「めぐみの郷」の販売方法を委託販売から買取販売に変更したことや、チーズタルト専門店「BAKE」が好調に推移したことにより、売上高は伸長いたしました。また、新業態のコインランドリー事業を開始し、大型コインランドリー「マンマチャオ」を2店舗出店したこと、赤字店舗の縮小効果により、増収増益となりました。



G-7モールフェスティバル サンシャイン神戸



オートバックスおクルマ大商談会in西神プレントピア広場

Q 来期以降の目標と取り組みについてお聞かせください。

A 第43期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の連結業績予想につきましては、売上高117,700百万円（前期比6.6%増）、営業利益4,100百万円（同5.2%増）、経常利益4,300百万円（同5.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,200百万円（同5.8%増）を見込んでおります。

この目標の達成に向けて、G-7グループのテーマとして掲げている「売上確保、粗利率アップ、在庫コントロール、経費コントロール」を実践し、人づくり、組織づくりの再構築を図るとともに、国内外の事業基盤の構築に向けた経営体制の強化を推し進めます。

また、平成33年3月期（創業45周年時）を最終年度とする中期経営計画を達成するための具体的な戦略として、「組織力と人間力の強化」を挙げています。新業態の大型コインランドリー「マンマチャオ」等を既存店に併設することで集客力アップを図るなど、グループ間のコラボレーションを強化してまいります。さらに、平成28年11月に資本業務提携を締結した二輪車販売を展開する「バイク王&カンパニー」と、二輪車用品を販売する「バイクワールド」は、国内バイク市場の低迷が続く厳しい環境の中、双方の二輪車事業の融合による新たなお客様の発掘に取り組みます。



BAKE阪神梅田店

Q 海外展開やM&Aについてお聞かせください。

A 海外については、マレーシアの車関連事業が好調に推移しており、G7リテールマレーシアは2012年のオープン以来、当期に初めて予算目標を達成しました。また、飲食関連事業においても、「串かつだるま」が台湾に続く2店舗目のオープンを目指しております。

M&Aについては、平成29年5月に兵庫県明石市を中心に食品スーパーを展開する川瀬食品(株)と、アジア・アセアン地域で自動車の輸出販売を行っている(株)CrownTradingの株式を取得いたしました。グループ内でのシナジーが期待できる業種・業態に対して、今後も積極的にM&Aや提携などにより、グループ全体の業容拡大を目指してまいります。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 私どもG-7グループは、中長期にわたる安定成長と財務基盤の確立を経営の基本方針としております。また、株主の皆様ならびにステークホルダーの方々のご期待にお応えべく、多彩な事業分野で収益性を高め、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。なお、当期の配当につきましては、中間配当金を1株あたり20円、期末配当金は、普通配当として1株につき20円、当期の業績に基づく特別配当として13円の合計33円（年間53円）といたしました。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を頂戴いたしますよう、心よりお願い申し上げます。

2020年グループ連結売上 中期経営計画



成長への3つのキーワード

- E** NVIRONMENT 環境
- S** Ocial 社会
- G** OVERNANCE 統治

中期事業計画

1. 組織力と人間力の強化
2. 新規事業、新業態開発の成長戦略室の新設
3. NCC（ネクスト・キャビネット・クラブ/次世代役員・経営者講座）を設立
4. M&Aの推進
5. G-7アグリジャパンは農業ビジネスへの挑戦
6. アジア・アセアンにおける海外事業の強化
7. G-7・オート・サービスは車買取販売とオートボックスエクスプレスで売上高の50%に挑戦

TOPICS

G-7グループ創業者記念館内に「G-7グループの歩み資料室」が完成

平成28年8月にオープンした「G-7グループ創業者記念館」内に、創業から40年の歩みを写真や映像で展示する「G-7グループの歩み資料室」が完成いたしました。この資料室では、創業者が築いた40年の歴史を次期役員・幹部社員に目と肌で感じてもらい、次世代リーダーを育てる創業者塾の開催をはじめ、ネクストキャビネットクラブやOBサロン、起業家クラブも併設しています。今後も50周年、60周年と続くG-7グループの歴史と成長を、この資料室に展示してまいります。



新店舗情報 (平成28年10月1日～平成29年3月31日)

業務スーパー、テラバヤシを中心に計11店舗オープン

業務スーパー、テラバヤシなどの既存の業態のみならず、新業態として展開を開始した大型コインランドリーのマンマチャオなど、幅広く新規出店を図りました。

業務スーパー

平成28年10月13日	上池袋店
平成28年11月10日	行田店
平成28年11月17日	豊田南店
平成29年3月9日	平塚横内店

めぐみの郷

平成28年10月22日	花田店
-------------	-----

マンマチャオ

平成29年3月30日	G-7モールひよどり台店
------------	--------------

やまや本舗

平成29年3月1日	布施畑インター店
-----------	----------

テラバヤシ

平成28年11月1日	川崎大師店
平成28年11月10日	行田店
平成28年12月1日	堺東店
平成29年3月9日	平塚横内店



マンマチャオ G-7モールひよどり台店



業務スーパー平塚横内店

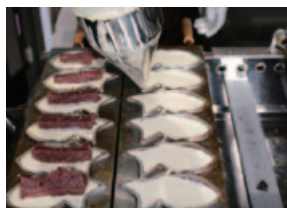


テラバヤシ行田店(業務スーパー内)

新業態

たい焼専門店「やまや本舗」の展開を開始

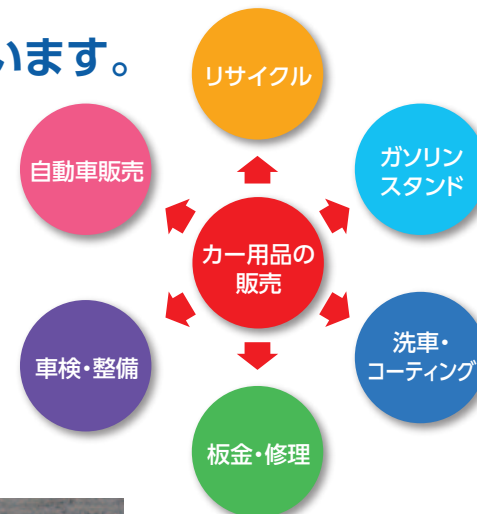
株式会社G-7・オート・サービスは、平成29年3月1日たい焼専門店「やまや本舗」布施畑インター店をオープンいたしました。業務スーパー布施畑インター店の店先に出店し、業務スーパーや惣菜店「Green's K」のお客様に立ち寄っていただき、大変好評です。メニューは「小倉あん」、「カスタード」と「たい焼のはね」を用意しています。



やまや本舗布施畑インター店

**お客様のカーライフをサポートする
さまざまな商品・サービスを提供しています。**

車関連事業を幅広く展開している株式会社G-7・オート・サービスは、お客様のカーライフに必要な商品・サービスを提供しています。中核事業であるカー用品販売では、お客様のニーズにあわせて、「スーパーオートバックス」「オートバックス」などのストアブランドと車関連業態を展開。千葉県、茨城県、福井県、京都府、兵庫県、岡山県、広島県にエリアを集中して店舗を展開しています。また、当社社員がドライバーとして、ARTA(Autobacs Racing Team Aguri)プロジェクトに参加し、モータースポーツの普及に取り組んでいます。



オートバックスNew土山店



ARTA/86/BRZレース



オートバックスエクスプレスNew土山店

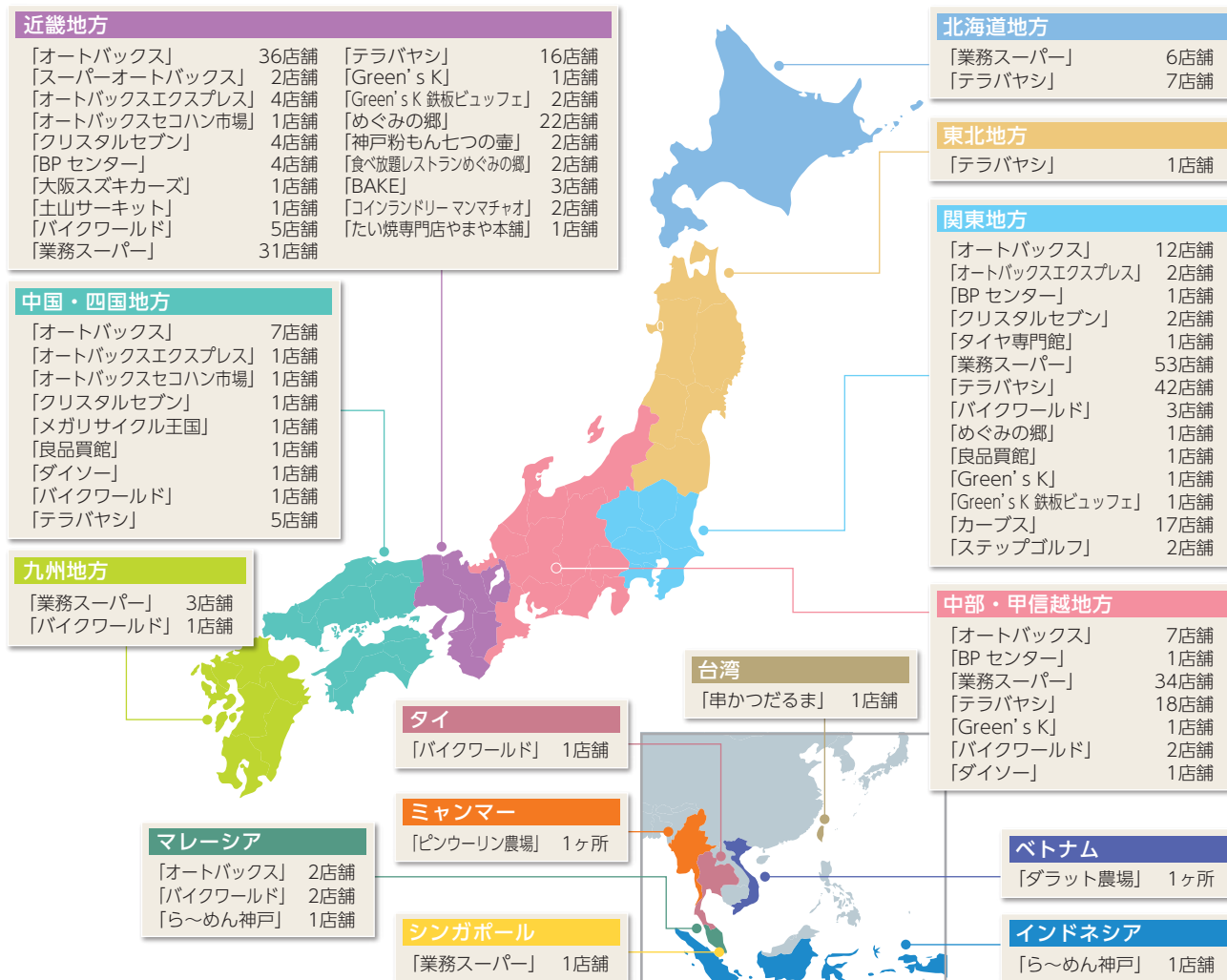
会社概要
株式会社G-7・オート・サービス
設立 平成18年(2006年)1月11日
代表者 代表取締役会長 金田 達三
本社 〒654-0161 兵庫県神戸市須磨区弥栄台3丁目1-6
TEL:078-797-7701(代)
資本金 3億8,000万円



代表取締役会長 金田 達三

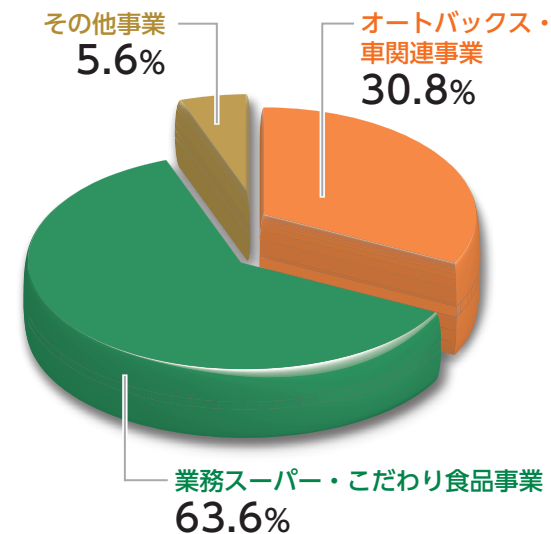
ファンづくりのグローバル化へ G-7ネットワーク

未来への新たな価値づくりで、顧客満足を高めるサービス・商品をお届けします。



(平成29年3月31日現在)

売上高構成比



オートバックス・車関連事業



オートバックス・車関連事業につきましては、トータルカーライフサポートを充実させるべく、タイヤやメンテナンス商品の拡販および車検・車買取販売をきっかけとした再来店の促進に取り組みました。主力商品であるタイヤ・ホイールの販売は、降雪地域による履き替え需要の増加もあり、売上・営業利益とも前期を上回りました。二輪事業に関してはバイク王&カンパニーとの資本業務提携により、互いの強みを生かしたシナジー効果が期待できます。

主要品目 車(四輪・二輪)関連用品、部品、車両販売

運営子会社 G-7・オート・サービス、G-7バイクワールド、他

業務スーパー・こだわり食品事業



業務スーパー事業につきましては、既存店舗の活性化と、高品質商品を低価格で提供することにより、お客様のニーズに応え、増収増益となりました。テラバヤシも好調に推移し、増収増益に寄与いたしました。こだわり食品事業は新規取引先の開拓や厳選商品の発掘が実を結び、好調に推移いたしました。

主要品目 冷凍食品・加工食品販売、厳選食品の卸販売

運営子会社 G-7スーパーマート、G7ジャパンフードサービス、G-7ミートテラバヤシ、他

その他事業

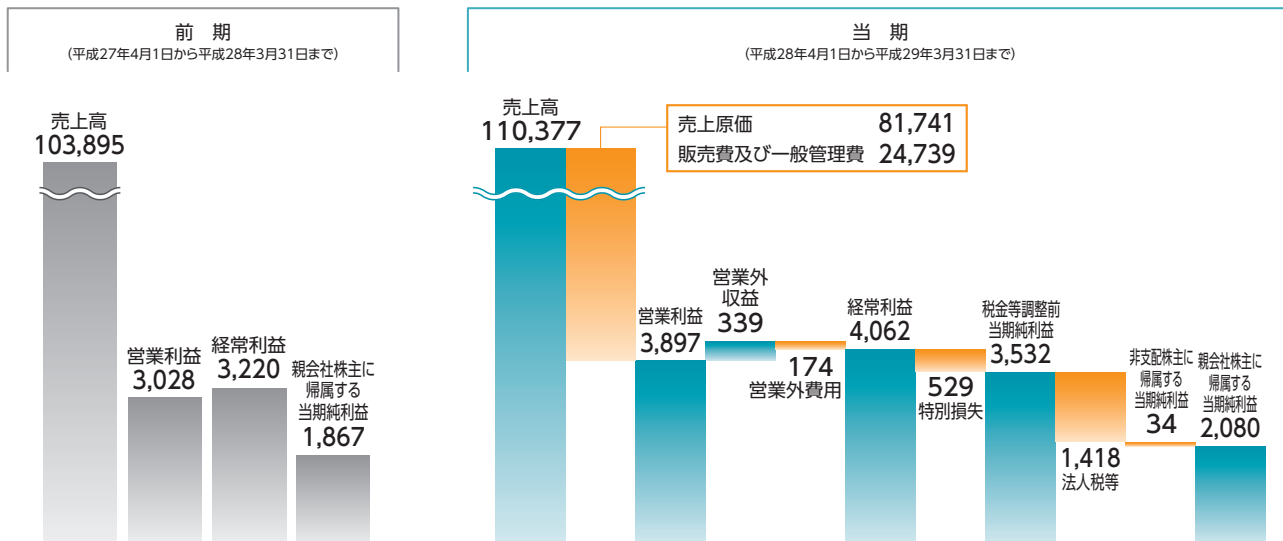


その他事業につきましては、昨年より農産物直売所「めぐみの郷」の販売方法を委託販売から買取販売に変更したこと、スイーツ事業のチーズタルト専門店「BAKE」の販売が好調に推移したこと等により、売上は伸長いたしました。また、新業態のコインランドリー事業、たい焼販売事業も開始し、グループ内の集客アップに寄与いたしました。

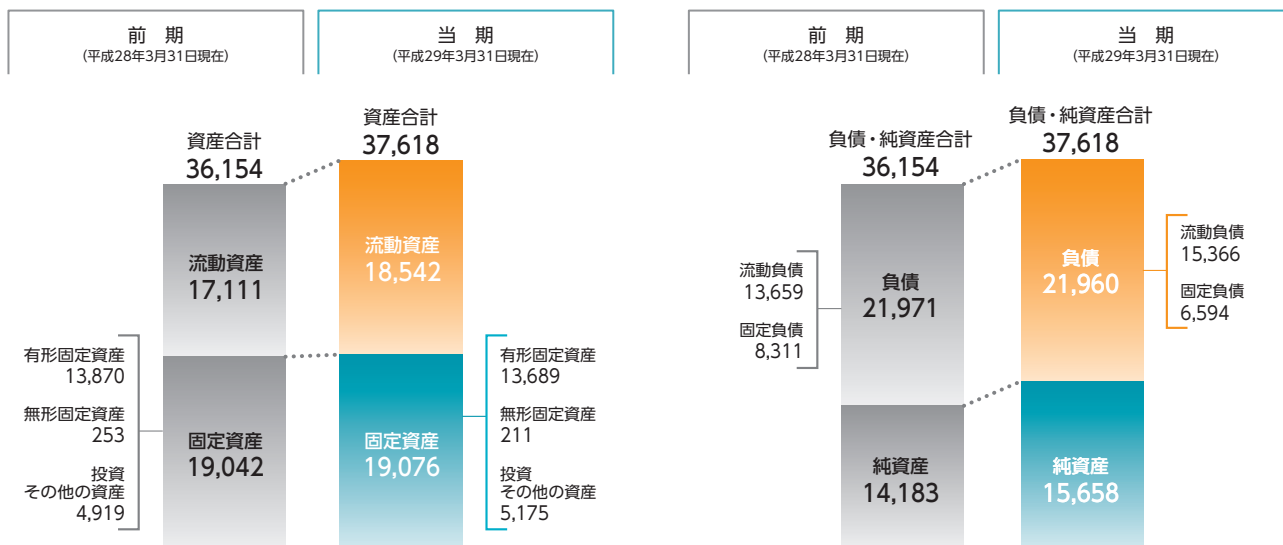
主要品目 農産物の直売、リサイクル用品の買取・販売、不動産賃貸業、飲食店経営等

運営子会社 G-7アグリジャパン、G-7リテールジャパン、他

連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)



連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)



株式の状況 (平成29年3月31日現在)

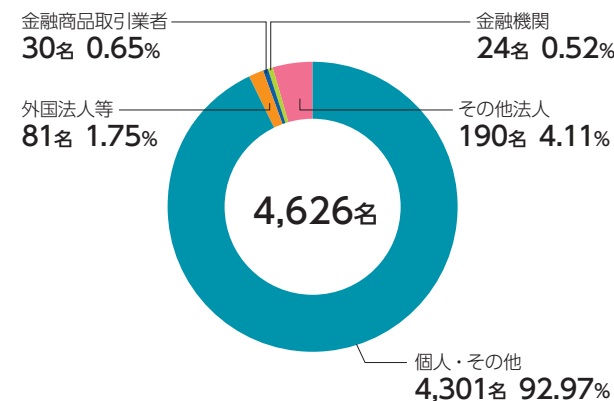
発行可能株式総数 52,000,000株
 発行済株式の総数 13,336,400株
 株主数 4,626名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
木下 守	1,830 千株	15.11 %
木下 智 雄	1,829	15.11
関 稚 奈 巳	1,129	9.32
有限会社キノシタファミリーサービス	1,094	9.03
木下 陽 子	826	6.82
株式会社オートバックスセブン	337	2.78
MSIP CLIENT SECURITIES	203	1.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	138	1.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	136	1.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	107	0.88

(注) 1. 当社は、自己株式1,225,625株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

所有者別株主分布 (平成29年3月31日現在)



会社の概況 (平成29年3月31日現在)

商 号	株式会社G-7ホールディングス G-7 HOLDINGS Inc.
設 立	昭和51(1976)年6月18日
資 本 金	17億8,570万円
代 表 者	代表取締役社長 金田 達三
本 社	神戸市須磨区弥栄台三丁目1番地の6
事 業 内 容	傘下の各事業会社を支配・管理する持株会社
従 業 員 数	1,648名(グループ計)
ホームページ	http://www.g-7holdings.co.jp/

グループ企業 (平成29年3月31日現在)

株式会社G-7・オート・サービス	株式会社G-7スーパーマート
株式会社G-7リテールジャパン	株式会社G-7バイクワールド
株式会社G7ジャパンフードサービス	株式会社G-7アグリジャパン
株式会社G-7ミートテラパヤシ	
G7 INTERNATIONAL PTE. LTD.	G7(CAMBODIA) CO., LTD.
G7 RETAIL MALAYSIA SDN. BHD.	G7(THAILAND) CO., LTD.
G7 AGRI VIET NAM CO., LTD.	G7 FOODS ASIA PTE. LTD.
PT. G7 SERVICE. INDONESIA	七福集团有限公司(香港)
CM G-7 AGRI MYANMAR CO., LTD.	七福股份有限公司(台湾)

役員の状況 (平成29年6月29日現在)

取締役 名誉会長	木下 守	取締役 坂本 充
取締役 社長 (代表取締役)	金田 達三	取締役 志田 幸宏
取締役 副社長	木下 智雄	監査役(常勤) 吉田 泰三
取締役 岸本 安正		監査役 上甲 悌二
取締役 松田 幸俊		監査役 西井 博生
取締役 奥本 恵一		

(注) 1. 坂本充氏および志田幸宏氏は、社外取締役であります。
 2. 上甲悌二氏および西井博生氏は、社外監査役であります。
 3. 当社は、坂本充氏、志田幸宏氏、上甲悌二氏および西井博生氏を、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。